

令和 5 年度北海道防災総合訓練（前期）の実施結果について

1 訓練日程等

日程・地域	参加市町村等	
	メイン会場	一般会場
10月15日（日） 日高振興局管内7町	日高町、平取町、 新冠町	浦河町、様似町、 えりも町、新ひだか町

2 主催

北海道防災会議（会長 北海道知事）

3 参加機関等

計 51 機関 約 1, 350 人（町・参加住民含む）

道防災会議構成機関：道警、陸上自衛隊北部方面隊、北海道開発局、
NTTドコモ、北電、（公社）道トラック協会等
災害時協定締結企業：イオン北海道、北海道コカ・コーラボトリング、
セコマ等

4 訓練内容等

< 訓練想定 > 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震（十勝沖を震源とする
マグニチュード8を超える地震）に伴い、太平洋沿岸地域
に大津波が発生

項目	主な内容
情報伝達訓練	○臨時災害放送局による情報発信
住民避難訓練	○車いす使用者など高齢者等避難行動要支援者への避難支援 ○避難者にGPSを携帯させ避難経路や移動距離等のデータ測定
避難所運営訓練	○受付時における一般避難者と要配慮者のトリアージ ○防災講話、段ボールベッドの組立、救護所等のブース設置
広域避難訓練	○海岸地域から内陸地域の他町の避難所へバスを活用した人員輸送
情報収集訓練	○カメラを搭載したヘリ・ドローンによる空撮映像の伝送 ○可搬式中継局を搭載したドローンによる通信の確保
救出救助訓練	○ヘリ等による一時避難場所からの急患並びに海中転落者の救出救助 ○臨時のヘリ等運航調整所を開設し運航管理システムによる複数の ヘリとドローンの運航調整
医療救護訓練	○DMAT、救急隊による傷病者の応急処置及び搬送 ○浸水区域内病院から他町の内陸部受け入れ病院への患者移送
物資輸送訓練	○ヘリ及びトラックによる被災地域への支援物資の輸送

5 今後の対応

有識者からの外部評価や避難者に携帯させたGPSの測定データの検証・
分析、訓練参加者からのアンケート結果等を踏まえ、防災・減災対策の充実
強化に向けて取り組む。